

登録速報（適用拡大）

農 薬 名：ファーストオリゼフェルテラ粒剤

登 録 番 号：第22824号

適用拡大登録日：平成23年7月6日

適用拡大登録内容：農薬登録申請書第7項中、

作物名「稲（箱育苗）」の適用病害虫名「いもち病」「イネミズウムシ」及び「イトロオムシ」に使用時期「は種前」を追加。

作物名「稲（箱育苗）」の適用病害虫名「ニカメイチュウ」に使用時期「は種前」を追加。

作物名「稲（箱育苗）」に適用病害虫名「もみ枯細菌病」及び「白葉枯病」を使用時期「は種時（覆土前）」で追加。

作物名「稲（箱育苗）」に適用病害虫名「ワタビコヤガ」を使用時期「は種前」及び「は種時（覆土前）」で追加。

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントリニプロールを含む農薬の総使用回数	プロバナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 （箱育苗）	いもち病 イネミズウムシ イトロオムシ ニカメイチュウ	育苗箱 （30×60×3cm、 使用土壌約5L） 1箱当り50g	は種時 （覆土前）	1回	育苗箱の 床土に 均一に 散布する	1回	2回以内 （育苗箱 への処理 及び側条 施用は合 計1回以 内）

【変更後】

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	クワントラニ プロール を含む 農薬の総 使用回数	プロベナゾ ールを含む 農薬の総 使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネズヅウムシ イネトモイムシ ニカメイチュウ アザヒコガ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 50g	は種前	1 回	育苗箱の 床土に 均一に 混和する	1 回	2 回以内 (育苗箱 への処理 及び側条 施用は合 計 1 回以 内)
	は種時 (覆土前)		育苗箱の 床土に 均一に 散布する				
	もみ枯細菌病 白葉枯病						

当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生じるときは、その旨及び内容

第 8 項 使用上の注意事項に (1) として以下を追加し、以降を繰り下げる。

(1) 本剤を育苗床土に混和する場合には薬害を生じる場合があるので、下記の注意事項を遵守すること。

- ① 山土、畑土などを使用する場合は、十分に乾燥させてから使用すること。
- ② 粒剤を混和した床土は高温多湿での保管を避け、すみやかに使用すること。
- ③ 粒剤が破碎されるような過度な混和は避けること。

【変更後】

【使用上の注意事項】

(1) 本剤を育苗床土に混和する場合には薬害を生じる場合があるので、下記の注意事項を遵守すること。

- ① 山土、畑土などを使用する場合は、十分に乾燥させてから使用すること。
- ② 粒剤を混和した床土は高温多湿での保管を避け、すみやかに使用すること。
- ③ 粒剤が破碎されるような過度な混和は避けること。

(2) 本剤処理後の低温で生育抑制を生じる恐れがあるので温度管理に注意し、適切な育苗につとめること。

(3) 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。

(4) 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後に田面が露出したりしないよう水管理に注意すること。

(5) 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合は使用をさけること。

(6) 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさけること。

- (7) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。